

その翌月、五月には、リンのつくつた女学校をもとにして、福島県立会津女学校（現在の会津女子高校）が開校しました。

さらに二十数年の月日が流れていきます。時代も大正から昭和にかわつて、その昭和七年（一九三二年）のある日、若松の市内に、小さな子どもたちのかわいらしいかけ声が、いつせいにひびきわたりました。数百人の子どもたちがあつまつて、大きな荷車を引いていくところでした。そしてその荷車の上には、白髪はくはつの上品なおばあさんの石像せきざうが、にこにこほほえみかけるようにのせられていました。それは、海老名リンの石像だったのです。

若松で最初に幼稚園ようちえんをつくつてくれた感謝かんしゃとお礼れいにつくられた石像は、今、幼稚園の子どもたちが力をあわせて、リンのお墓はかのあるお寺に運ばれていくところだったのです。

現在も、にこやかなリンの石像せきざうは、リンの生まれたところの近くで、また、